

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県御坊市外五ヶ町病院経営事務組合 ひだか病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	訓	救 臨 感 へ 災
人口 (人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	27,072	-	第2種該当	10:1

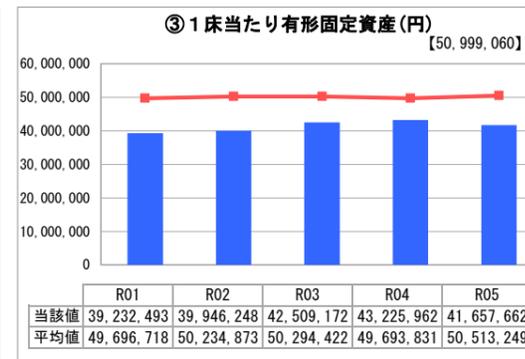
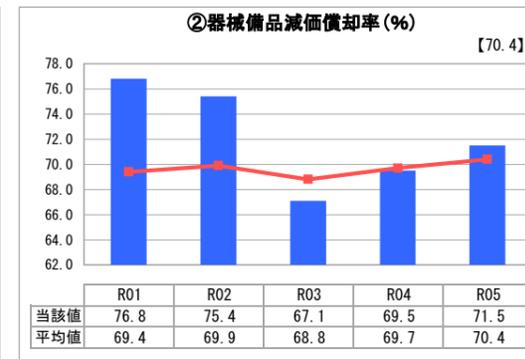
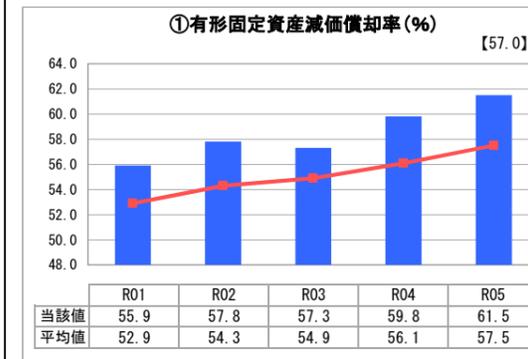
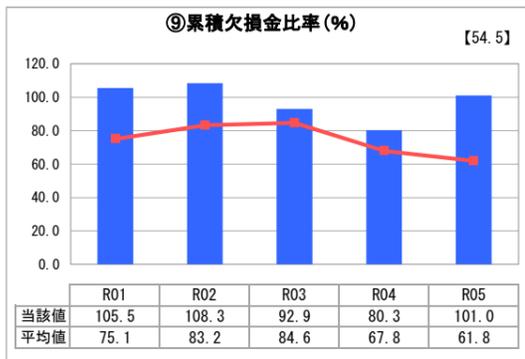
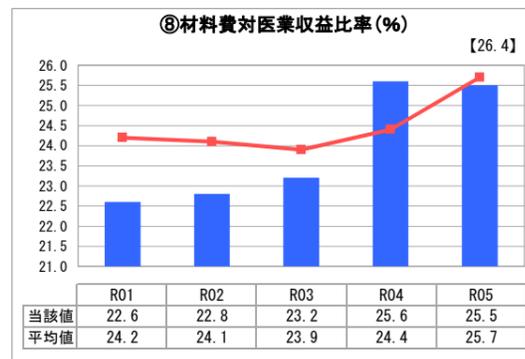
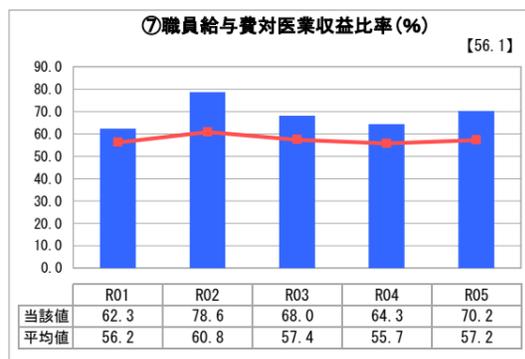
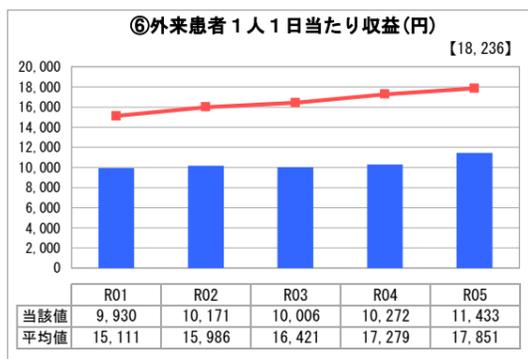
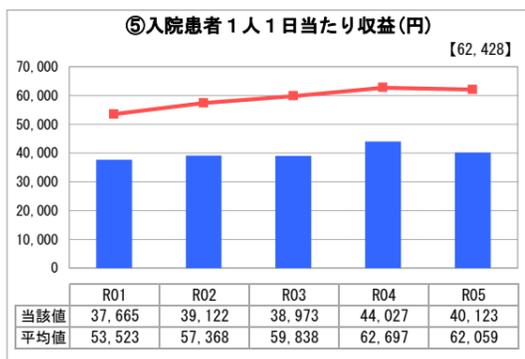
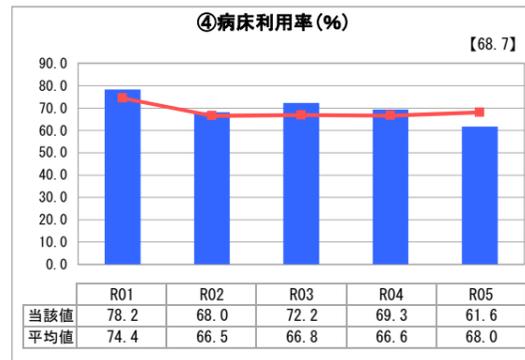
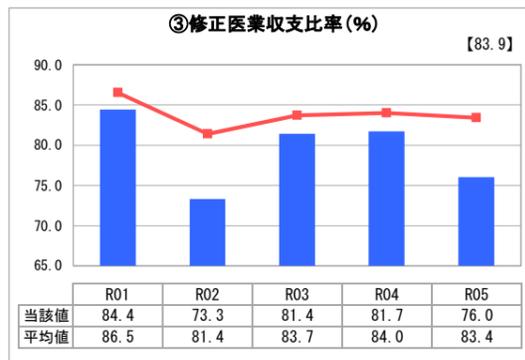
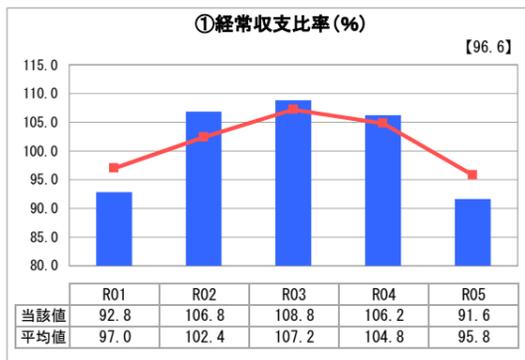
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
263	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
100	4	367
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
225	-	225

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

当院は和歌山県内の地域中核病院の中で五疾病・五事業すべてを病院単体で対応可能な唯一の病院として、当該圏域の医療を守る為、救急・小児・周産期・精神及び災害医療等の部門も担っている。

基幹となる病院として、「質の高いがん医療」が受けられるよう和歌山県独自で指定する「がん診療連携推進病院」、若い医師の育成・指導の場として「臨床研修指定病院」、へき地・過疎地域の継続的かつ安定的な医療の確保に貢献する為「へき地医療拠点病院」にそれぞれ指定されている。平成30年度には「救急科」を開設、令和4年度には精神科において県内で2番目となる修正型電気けいれん療法を導入し、引き続き医療体制の充実を図っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①②③④⑤⑥ 新型コロナウイルス感染症が5類へと移行したことでそれに関連する補助金等が減額・廃止となったことで減収し、収支比率が低下する事となった。また入院・外来ともに1人1日当たり収益が長年にわたり平均値よりも大きく下回っている状態である。  
⑦⑧⑨ 上記の要因から医業収益が減ったことで、それぞれの比率割合が高くなっている。

### 2. 老朽化の状況について

①② 有形固定資産・機械備品減価償却率は年々増加しており、平均値を越えている。また有形固定資産減価償却比率に関しては比率が60%を超えておりの老朽化が進んでいると考えられる。  
③1床当たり有形固定資産は、例年平均値よりも低く推移している。また昨年度までは毎年度微増していたが、今年度は若干下がった。

## 全体総括

今年度は新型コロナウイルス感染症に関連した補助金等が減額・廃止となったことや、一般病棟の改修工事による一部病棟の閉鎖期間があったことで収益が減収した。  
今後は外部からの意見も積極的に取り入れる等、経営改善に向けて収入・費用両面から様々な取り組みを行い、通常診療の中で健全な病院経営を行っていく必要がある。  
また、減価償却費は、建物改修工事・医療機器の更新・導入により依然として高額な状況であり、繰越欠損金も多額に残っている状況である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。